在校生編（16 ～ 18 期生）

NO STAGE NO LIFE!

咲くやこの花高校・演劇科の受験を考えているあなたへ

演劇科の魅力って!?　在校生のリアルな声を集めました！



CONTENTS

演劇科に入って良かったこと／演劇科のリアル！／演劇科に入ろうか悩んでいるあなたへ／未来の後輩へ（三井 莉穂）

演劇科に入って良かったこと

自己成長できる。大人になる前に自分をきちんと見つめ直すことができる。（２年）

自分の「できること」と、**見える世界が広がった。**（２年）

周りを見る目が育った。**かげがえのない仲間**ができた！（２年）

３年間クラスが変わらないので、みんなで仲良くなれる。そして、自分の殻を破ることができる。演劇では、台本や衣装、小道具、音響、照明なども自分たちで考えて、舞台に立つ。なかなか凄いことを高校生のうちにやらせてもらえて、良かった。あと、**みんなで息を揃えて挨拶するのが気持ちいい！**（３年）

新しい体験がたくさんできる。（１年）

プロの講師の人から発声の基礎や、滑舌のアドバイスをもらえる。演劇関係のことは何でも学べる！　演劇だけでなく、勉強面でもみんなで協力し合える！（１年）

自分と価値観の違う人とぶつかり合ったおかげで、**ちゃんと悩む力**がついた！（１年）

良い意味で自分を主張できる！　恥ずかしいと思うことが少なくなった（笑）（１年）

舞台関連のことをたくさん学べて、表現力や技術が磨ける。**勉強だけでなく、歌ったり踊ったりできて楽しい。**（１年）

自信を持てる！　仲間との絆が生まれる！　舞台の大きな感動を味わえる！（１年）

様々な考えを持つクラスメイトと日々同じ環境で授業や稽古をするなかで、**互いに意見を言い合い、時にはぶつかり合い……**それでも互いに認め合うことができた先に、新たな考えが生まれたこと。（１年）

本気になれば、いかに楽しめるのかを知れた。先生たちの話が面白い。（２年）

他の学校では味わえない青春を味わえる！（２年）

忍耐力がつく。どれだけ辛くても、絶対にこの先ためになることがある！（２年）

頑張る努力ができるようになった。（１年）

観劇実習でいろんな種類の舞台を見られること。一人だと能楽や人形浄瑠璃などを観に行くことはあまりないと思うので、自分の世界が広がって、良かった。稽古期間中は自分と向き合わないといけない場面が増えるので、**自己理解を深めていけること**も良かった。（２年）

大切な仲間に出会えたこと！！（１年、ほか）

人生で初めて演技をして**沢山の感動や楽しさ、辛さを感じ、**総合的に成長できたこと。（１年）

舞台の上で輝けるだけじゃなく、舞台に立つまでに学ぶ**「仲間を信じる大切さ・楽しさ」**が、演劇科のたまらない良さだと思います。また、**演劇科だけの授業**（舞踊歌唱、演劇論、劇表現）が楽しい！　特に劇表現で、体と言葉を使ったゲームをみんなでするのが一番好きです！（１年）

大好きな演劇にたくさん触れられることです！　演劇科に入る前の自分を覚えていないくらい、成長できます！（１年）

必要とされる人間になれること。（１年）

３年間同じ仲間と切磋琢磨しながら、共同で創作活動をすることで、協調性や社会性、責任感や忍耐力、たくさんの能力を身につけられた。常に仲間と話し合いながら、ゼロからものづくりをするため、毎日、１日が 24 時間では足りないと感じるくらい忙しい日々。そのなかで、**たくさんのことを一度にやりこなす能力やスケジュール管理ができる人間になれた**ことは、今後も自分の自信になる貴重なことだと思う。（３年）

自分の知らない自分に出会える。（１年）

作品を創る際に、自分の考えや思いを具現化して、**相手に伝える技術が身についたこと。**（２年）

どんな自分でも、認めてくれる人たちがいること。（３年）

主体性が身につく。（１年）

素敵な仲間と出会えて、**他の学科では学べないことを学べる。**（１年）

やりたかったことに積極的にチャレンジできる。人としての成長がとてつもなく早い。体力がつく！（２年）

新しい人に出会えたこと。中学時代、「なんだか周りと話が合わないな」と心のなかで感じていた自分でも、演劇科に入ったことで、自分と合う人たちに出会えました。（１年）

人前で何かをすることを抵抗なくできるようになった。（３年）

演技やダンスなど自分が好きなことのスキルを伸ばせるのはもちろん、友達と一緒に長い時間過ごせたり、一つの舞台を作ることは、最高の思い出になります！　自分は、舞台経験が０からのスタートで不安がありましたが、**一からプロの方々に手取り足取り教えてもらえて、すぐに純粋に楽しいと思えるようになりました。**本格的な舞台を目指す子にとっては、しっかりとした設備で３年間自分をビシバシ鍛えられる最強の環境です！　自分に近い考えを持つ仲間と過ごせるのも最高ですね。（１年）

裏方まで学べること。（３年）

コミュニケーション能力が上がる。（２年、ほか）

一生忘れない思い出ができた。（３年）

舞台に立つ人は、立てることのありがたさに気づける。観劇する時は、俳優さんだけでなく**いろんなところ（舞台美術・衣裳・照明・音響）にも気を配れる**ようになる！（１年）



16期生
卒業公演

17期生
講座別公演 歌唱

17期生
講座別公演 舞踊

17期生
卒業公演

公式
インスタグラム

演劇科のリアル！「ここがしんどい！」ランキング

演劇科のみなさんにアンケートをとったところ、
「しんどいこともあるけれど、それ以上に楽しい３年間が過ごせる」という意見が多く寄せられました。
そこで、どんなところが「しんどい」のかを深堀りして、ランキングにしてみました！

第1位 しんどいけれど、その分楽しい！稽古

演劇科の宿命とも言える**「稽古」**が第１位！　理由は、テスト期間中や放課後、休日にも稽古が入るため、学業との両立が難しかったり、体力的に大変だからだそう。「公演前は部活や習い事を入れるのが難しくなる」という意見も。それでも、「稽古を乗り越えた後の公演は、言い表し難い快感と達成感に包まれるので、頑張って良かったと思える」という声が多くあった。**一番しんどいけれど、まさに「演劇科」の青春そのもの！**

第2位 ３年を共にする仲間は一生モノ。人間関係

「人間関係」が第２位にランクイン。**仲間全員で良い公演を創ろうとするあまり、ついギスギスしてしまう**ことがあるそう。「モチベーションの差によるすれ違いがある」「それぞれ育ってきた環境が違うなかで一つの舞台に向き合うことが大変」という意見もあった。また、講師との共同作業の難しさを感じるという声も。「先生とも仲間とも“報連相”を怠らないことが大切」だそう。**コミュニケーションは、必須です！**

第3位 大変だけれど、なんとかなる！体調管理

第３位は、**「体調管理」**。公演前は、早朝から夜遅くまでハードな稽古があり、体調を崩してしまうこともしばしば。**「体力がもたない」「早起きが大変」**という声が多く寄せられた。なかには、「公演が近づくにつれ、焦って自分を追い込み、夜も家で練習をしてしまう」というストイックな人も。体調を崩すと、**結果的に仲間にも迷惑をかけてしまう**ので、忙しいなかでもしっかり寝て、食べて、稽古を乗り越える工夫ができると◎

＼ほかにも！／

「演劇科」というだけで
歌やダンスを期待されて
困ることがある
（２年）

「表現」という
得体の知れないものに
立ち向かわなければ
ならないこと（１年）

稽古は
体力だけでなく、
メンタル的にもやられる
（１年）

演劇科に入ろうか悩んでいるあなたへ

演劇科は、将来舞台人やエンターテイナーを目指している人だけでなく、歌が歌いたい！ダンスをしたい！と思っている人も大歓迎です！　私達と一緒に普通科では体験できない貴重なことやってみませんか？（1年）

忙しいし大変だけど、自分を認めてくれる仲間に必ず出会える！（2年）

ダンス・歌が未経験でも下手でも大丈夫！喧嘩も沢山するだろうけど、その分絆も深まって大好きなクラスメイトになるし、将来に役立つ経験をしていると思います！めっちゃ青春できるよ。（1年）

作品を作るのはとてもしんどいです。たくさん悩んで、たくさん迷って、たくさん喧嘩します。ですが、どんなにしんどいことがあってもそれを舞台上では見せません。たくさんの仲間と一緒に、照明をいっぱい浴びて、キラッキラに輝くんです！しんどくて、楽しくて、いっぱい笑って、いっぱい泣く！　そんな場所、演劇科しかない！　舞台で待ってます！（1年）

自分に自信がない人や、新しい自分に出会いたい人に、ぜひ来てほしいです！（1年）

入っても後悔はしません！（1年）

人生において貴重な経験が沢山できるので、迷っているなら来た方が良いと思う。舞台関連はもちろん、どんな仕事でも役立つものが身につくので、将来舞台とは全く違う職に就きたいと思っている人も、引け目を感じないで欲しい。あと、学校自体が凄く面白い。行事では先生方もハイテンションになって、びっくりするぐらい楽しい！　咲くやこの花高校 演劇科、おすすめです。（2年）

舞台に立ちたいと一度でも思ったなら、挑戦してみたらいいと思います。演劇科だからといって、演技するだけではないので、意外なところであなたの特技が見つかったり、やりたいことが生まれたりするかもしれないです。先生たちは私たちのやりたいことができるように、最大限サポートしてくれます。未経験でも、絶対に楽しいです！（2年）

きれいなことばっかりじゃないけど、演劇科で過ごす毎日はかけがえのない宝物になると思います！（2年）

演劇を通して、人としてかっこいい人間に成長できます。苦手なこともみんなと協力するので、恐れる必要はありません。（2年）

人前に立つのが大好きな子も苦手な子も、絶対に人生観が変わる学科です。自分のことを好きになれる経験が山程あるので、身構えずにオープンスクールに遊びに来てください！（1年）

この学科に入って後悔するか、入って良かったと思うかは自分次第です。自分次第で、すごく恵まれた環境で、様々なことが学べると思います。（1年）

私は中学生の時、なりたい自分をイメージして演劇科を選びました。この進路選択で人生は大きく変動します。「親に言われたから」「友達と一緒がいい・一緒でいい」だと、あとで絶対後悔します。挑戦できるのは今です！　自分を変えられるのも今です！　熱意を持って、毎日元気に共同制作に取り組みたい、演劇を学びたい、と思う人はぜひ演劇科に来て下さい！（3年）

15歳から18歳の間、他の高校生が体験できないことばかり。「普通」の青春はないかもしれないけれど、他の高校では経験できない青春を謳歌できます。（2年）

3年の間に、こんなにいろんな思い出ができる学校なんて、なかなかないよー！　ぜひきてー！（3年）

設備が綺麗で演劇の道具も沢山揃ってます！　演劇科で待ってます！（1年）

実技試験の「身体表現」では、短い時間で振りを覚えます。私は受験勉強の間にTikTokの短いダンスを覚えることが練習になりました。あとは自分を信じて、試験を楽しむだけです。体験授業は参加しておいた方がいいと思います。説明会で先生のお話を聞いて、演劇科で「楽しめる！　輝ける！　頑張れる！」と思えたらばっちりです！　少しでも興味を持ってくれているのなら、ぜひ演劇科に来てください。絶対に「楽しい高校生活」確定です！（1年）

自分を変えたい、もっと刺激が欲しい、そういう人におすすめです。大人数で一つのものを創り上げるというのはとっても大変だけど、乗り越えた先には何物にも代えがたい最高の景色が待っています！（1年）

未来の後輩へ

劇団四季 俳優　三井 莉穂



私は「舞台が好き」という気持ちから咲くやこの花高等学校の演劇科を選びました。でも、入学して出会ったのは、自分とは全然違う人たちでした。

演劇に興味がある人もいれば、「なんとなく面白そうだったから来た」という人もいる。考え方も表現の仕方も本当にバラバラで、最初は正直不安もありました。

でも、その“違い”があったからこそ、演劇科での時間は特別だったんだと思います。

価値観も感性も違う人たちが、一つの舞台に向かって本気でぶつかり合う。その過程は決してきれいなことばかりではありませんでしたが、全員で作品を創り上げた瞬間の熱量は今でも鮮明に覚えています。

演劇科で私は、「違うこと」は欠点じゃなく、その人だけの魅力なんだと知りました。そして、自分自身にも「私らしくいていい」と思えるようになりました。その経験は今でも、人と向き合う時に、自分を信じられる力に繋がっています。

もし今、「変わりたい」「何かに夢中になりたい」と思っているなら、その気持ちを大切にしてほしいです。その一歩が、自分を変えるきっかけになるかもしれません。

出張授業を行っています

演劇の手法を用いて、表現力やコミュニケーション力を育む
授業・ワークショップを実施しています。



希望する場合は中学校を通じてご連絡ください



NO STAGE NO LIFE! (在校生編) 発行日：2026年7月15日 発行：咲くやこの花高等学校演劇科 協賛：同窓会・咲くや会 企画：青木 春奈 協力：植田 翔子 編集・デザイン：宮本 巴奈
この冊子は16～18期生を対象に行ったアンケートをもとに作成しました。掲載内容は、2026年3月時点のものになります。